

奈良県の養豚場で豚熱を確認！（国内63例目）

3月31日、奈良県奈良市の養豚場において豚熱の患畜が確認されました。当該農場は豚熱ワクチン接種農場です。

京都府ではワクチン接種をしていますが、野生いのししにおいては、府内でも豚熱陽性事例が多数確認されていることから、飼育施設への部外者の立入制限と車両・靴等の消毒、施設周辺の消毒やネズミ駆除、野生動物の侵入防止などの衛生対策をしっかりと実施してください。

【63例目の概要】

◆発生農場

奈良県奈良市 1,100頭飼養

◆経過

- ・3月29日、飼育豚が死亡している旨の通報を受け、奈良県が立入検査により豚熱の疑いを認めた。
- ・国で精密検査を実施し、3月31日、豚熱の患畜であると判明。

◆疫学関連農場

大阪府大阪市1農場 200頭飼養（うち疑似患畜31頭）



豚熱発生県：山形、埼玉、群馬、山梨、長野、岐阜、愛知、福井、三重、和歌山、沖縄
 関連農場発生県：大阪、滋賀

管内の飼育豚、いのししにはワクチン接種をしていますが、油断をせず、衛生対策をしっかりと行い、感染のリスクを下げましょう！

以下について、いまいちど点検をお願いします！

- ☑ 毎日、豚やいのししの健康観察をしてください。異常があればすぐ通報！
- ☑ 出入りする車両や飼育施設周辺の消毒を徹底してください。
- ☑ 飼養衛生管理区域専用の衣服・長靴を着用してください。
- ☑ ネットや柵、コンパネなどを活用し、いのしし、ねずみなどの野生動物の侵入や接触の防止対策をしてください。
- ☑ 肉及び肉製品が含まれている可能性のある飼料は加熱給与してください。

（攪拌しながら90℃以上60分以上又はこれと同等以上）

※ 攪拌しながら90℃で60分以上、又は95℃で19分以上、100℃で6分以上